



# 産直ニュース（農・畜・水産）9週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。生活クラブ関西

## 今週のカatalog青果情報（欠品・遅配等）

番号	消費材名	生産者	内容
110	菜の花 150g	王隠堂農園	全曜日欠品 (干ばつと低温による生育不良で出荷を断念)

## 今週のよやく・る青果配達について

消費材名	生産者	状況等
不知火③	アイワ研究会 佐伊津有農研	追加できます
清見①	アイワ研究会 豊共園	生育遅れのために 次週に繰り下げです
小玉ふじ①	八ヶ岳会	次週で最後です

### ■いちご（島原自然塾）のお届けについて

生産量の減少で一部欠品となります。「登録パック」は全てお届けです。「登録ケース」は火曜コースで茨木・豊能・奈良・山科、水曜コースで門真、木曜コースで滋賀が欠品となります。予約はケースとパックともに欠品となります。

### ■新玉ねぎ（産直南島原）のお届けがはじまります

新玉ねぎは通常の保存がきく品種と違い、水分が多く、みずみずしく、オニオンライスなどの生食用に最適な品種で、収穫後に乾燥工程を行わず、すぐに袋詰めしてお届けしています。

通常の保存がきく品種に比べると水分が多く柔らかいので、すぐに蒸れて傷みはじめます。また収穫後も、切り取った芯の部分が伸びてきます。新玉ねぎは日持ちしないため、1週間以内を目安に使い切るようにしてください。

### ■いちご（島原自然塾）の今シーズンの状況について（再掲載）

定植時期を遅らせることで、安定的な生産量になると思われましたが、昨年よりも大きく減少しています。昨年までの早い時期の定植では暑さで苗が枯れ、花付き数が少ない状況でした。当然花が咲かなければ、受粉し実がつくことはありません。

今シーズンは定植時期を遅らせたことで花付きは安定しましたが、その後の受粉時の気温が暑すぎたことで、ミツバチの動きも鈍く、実りが悪くなっています。現在は一番果が終了し、二番果（次の花）を待っているところです。これからの回復を願うばかりです。

<昨年と今年の生産量の違いのイメージ>

「定植後、花が咲く」



暑さを考慮し定植時期を遅らせての対応。昨年は花付き数が少なかったですが、今年の花付き数は多くなりました。

「花が咲き受粉し実る」



花が咲いても受粉が上手くいかなければ実つきません。今年は受粉時期の気温が高すぎて、ミツバチの活動が鈍かったこともあり、いちごの実りが少なくなっています。

### 生産者へ声を届けよう！

「じゃがいも・にんじん・玉ねぎ」の生産者コメントは二次元コードよりお願いします。  
※傷みやクレームに関する内容は、配達担当者または担当事業所へご連絡下さい。

